

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

高松

令和5年6月30日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238~9

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es05/>

感謝の言葉

～一日に何回「ありがとう」と言いますか～

校長 関口 保司

7月に入りました。1学期の最後の月です。今学期を振り返ってみると、たくさんの出来事がありました。その中でも、最も大きな出来事は、新しい西校舎の完成でしょう。

4月は、全学級が南校舎を中心に学習を行いました。約650名の子どもたちが一つの校舎の中で上手に過ごすことができました。校庭も狭いなか、休み時間の遊び方も工夫することができました。そして5月。1日と2日に引っ越し作業を行いました。6年生が頑張って、たくさんの荷物を運び、南校舎や北校舎の整備も行ってくれました。新校舎では、2年生を中心に学習活動を進めています。特別支援教室（キラリ）も広い教室に移動し、更衣室や話し合いの場所を新しく作ることもできました。靴箱も整理し、ゆとりをもって昇降口を使うこともできています。

これらの出来事を振り返った時、改めて感謝の気持ちでいっぱいになります。この校舎の建設には、保護者や地域の方々、工事関係者、そして教育委員会や市役所の方々、たくさんの方々のご理解・ご協力・ご尽力がありました。皆様のおかげで、この地域に暮らす子どもたちの学ぶ環境を整えることができました。ありがとうございました。校舎自体は完成したとはいえ、校舎周辺の陥没の修理等、まだしばらく工事は続きますが、これからもご理解・ご協力をよろしく願います。

7月は子どもたちが感謝を伝える集会を2回予定しています。1回目は7月10日。教育長をお迎えし、新校舎を使っている2年生が中心になって、感謝の気持ちを表す全校朝会を行います。そして18日には、代表委員会が中心になって、これまで自校方式で給食を作ってくれた栄養士や給食調理員の方々に感謝を表す全校集会を予定しています。本校の創立50周年記念誌によると、昭和24年9月30日に給食調理室ができたという記録が残っています。これらの機会を通して、感謝を表すことの大切さを子どもたちに指導していきたいと考えています。

調べてみると、「ありがとう」と声に出して伝える人ほど幸福度が高いという調査があります。また心理学の立場から「ありがとう」と口に出すと、たくさんの良い効果があるという人もいます。まず一日に10回「ありがとう」と言いましょうというスポーツコーチの方もいます。昨年本校に来ていただいた元サッカー日本代表の岩本輝雄氏は「自分に関わってくれる人を大切に。感謝することが大事です。そしてそれを行動で表しましょう。例えば今日からお皿の片付けをするのも良いでしょう。」と子どもたちに語ってくれました。「あいさつ」と同じように、「ありがとう」等の感謝の言葉も、魔法の言葉といえるのではないのでしょうか。

感謝の気持ちや言葉を大切に、今月も教育活動を進めてまいります。ご理解・ご協力をよろしく願います。

【お知らせ】

令和5年7月より毎月1日の日に、スクールメールを使って学校からもテストメールを配信します。もし、届いていない場合は、学校までお問い合わせください。(会社からの定期配信メールは毎月10日です。)